

得点		演習問題	実施日	月 日	氏名

【1】右の年表を参考にして、次の問いに答えなさい。

西暦	日本のおもなできごと
587	蘇我氏が物部氏を滅ぼす
593	聖徳太子が(①)の摂政になる 聖徳太子の政治……………A
645	中大兄皇子・中臣鎌足が蘇我氏を滅ぼす……B
663	日本軍が唐、新羅軍に大敗……………C
672	(②)の乱がおこる
710	奈良へ都を移す 天平文化が栄える……………D
794	(③)に都を移す

- 年表中の①～③にあてはまる語句を答えなさい。
①()②()③()
- Aの聖徳太子の政治について、次の各文は何を説明したものですか。
① 小野妹子に「国書」を持たせ、隋に送った。()
② 豪族たちの才能や仕事に応じて、個人に冠位をさずけた。()
③ 仏教や儒教思想をもとに、朝廷に仕える役人の心得を示した。()
- 645年におこったBの政変は何ですか。()
- Cのできごとで、日本軍はどこを援助しましたか。()
- Dの天平文化について、次の文は何を説明したものですか。
① 712年、元明天皇の命令でつくられた日本最古の歴史書。()
② 大伴家持がまとめたといわれる全 20 巻からなる歌集、作者は皇族や貴族から防人や農民などにわたり、約 4500 首の歌をおさめている。()

【2】次の資料を読み、あとの問いに答えなさい。

一、これまで皇族や豪族の私有していた A 土地、人民をさし出させ、天皇のものとする。
 二、全国を国、郡、里にわけ、それぞれに国司、郡司、里長をおく。
 三、戸籍、計帳をつくり、人民に一定の土地をあたえる B 班田収授を実施する。

- ここで示されたような新しい政治の方針は、唐の制度にならない701年に法律として完成したが、これを何といいますか。()
- 資料中の下線部 A のようなしくみを何といいますか。()

- 下線部 B について、次の文の()に適する語句を書き入れなさい。

朝廷は、6年ごとに(①)をつくり、それにもとづいて6歳以上の男女に口分田をあたえた。かわりに農民には重い税が課せられた。まず稲をおさめる(②)のほか、労役にかえて布をおさめる(③)、地方の特産物をおさめる(④)などがあった。また1年間に60日まで、地方の仕事をするために国司に使われた。これを雑徭という。

- ①() ②()
③() ④()
- 当時の農民は、3年間、九州の防備にあたらなければならなかったが、これを何といいますか。()
 - 奈良時代に入ると、人口も増加し農民にあたえる口分田が不足してきた。これを補うために次のような対策が立てられた。これを何といいますか。
① 723年、新たに土地を開墾し田をつくった場合には、3代に限り、その土地の私有を認める。()
② 743年、新しく土地を開いて田をつくった場合には、永久に土地の私有をゆるす。()
 - この当時、山上憶良が筑前国の役人であったとき、貧しい農民の生活を見聞してつくった有名な歌を何といいますか。()

【3】次の資料を読み、あとの問いに答えなさい。

天平 15 年 10 月 15 日、仏教興隆の大願を建て、慮舎那仏の金銅像一体を造る。国内の銅をすべて使って像を鑄、大山から木材を切り出して A 仏殿をつくり、仏教をさかんにして仲間を広げ、仏の恩恵によって正しい悟りをひらこう。天下の富をもつものは B 朕である。 「続日本紀」

- 文中の下線部 A について、奈良の都に建てられた大仏殿のある寺を何といいますか。()
- また、諸国に命じて建てさせた①僧寺と②尼寺をそれぞれ何といいますか。
①()②()
- 下線部 B の「朕」とはだれですか。()
- この時代の代表的な寺院建築を一つ答えなさい。()
- 右の建物は、大仏殿の祭具や、天皇の日用品を収蔵している倉庫である。この建物を何といいますか。
()
- また、この建物には、湿度の高い日本の風土を考慮し、収蔵品をいためないように工夫がこらされているが、このような建築様式を何といいますか。()



得点		演習問題〔解答〕	実施日	月 日	氏名

【1】右の年表を参考にして、次の問いに答えなさい。

西暦	日本のおもなできごと
587	蘇我氏が物部氏を滅ぼす
593	聖徳太子が(①)の摂政になる 聖徳太子の政治……………A
645	中大兄皇子・中臣鎌足が蘇我氏を滅ぼす……B
663	日本軍が唐、新羅軍に大敗……………C
672	(②)の乱がおこる
710	奈良へ都を移す 天平文化が栄える……………D
794	(③)に都を移す

- (1) 年表中の①～③にあてはまる語句を答えなさい。
①(推古天皇) ②(壬申) ③(平城京)
- (2) Aの聖徳太子の政治について、次の各文は何を説明したものですか。
① 小野妹子に「国書」を持たせ、隋に送った。
(遣隋使)
② 豪族たちの才能や仕事に応じて、個人に冠位をさずけた。
(冠位十二階)
③ 仏教や儒教思想をもとに、朝廷に仕える役人の心得を示した。
(十七条の憲法)
- (3) 645年におこったBの政変は何ですか。
(大化の改新)
- (4) Cのできごとで、日本軍はどこを援助しましたか。
(百済)
- (5) Dの天平文化について、次の文は何を説明したものですか。
① 712年、元明天皇の命令でつくられた日本最古の歴史書。
(古事記)
② 大伴家持がまとめたといわれる全 20 巻からなる歌集、作者は皇族や貴族から防人や農民などにわたり、約 4500 首の歌をおさめている。
(万葉集)

【2】次の資料を読み、あとの問いに答えなさい。

一、これまで皇族や豪族の私有していた A 土地、人民をさし出させ、天皇のものとする。
二、全国を国、郡、里にわけ、それぞれに国司、郡司、里長をおく。
三、戸籍、計帳をつくり、人民に一定の土地をあたえる B 班田収授を実施する。

- (1) ここで示されたような新しい政治の方針は、唐の制度にならい701年に法律として完成したが、これを何といいますか。
(大宝律令)
- (2) 資料中の下線部 A のようなしくみを何といいますか。
(公地公民)

(3) 下線部 B について、次の文の()に適する語句を書き入れなさい。

朝廷は、6年ごとに(①)をつくり、それにもとづいて6歳以上の男女に口分田をあたえた。かわりに農民には重い税が課せられた。まず稲をおさめる(②)のほか、労役にかえて布をおさめる(③)、地方の特産物をおさめる(④)などがあった。また1年間に60日まで、地方の仕事をするために国司に使われた。これを雑徭という。

- ①(戸籍) ②(租)
③(庸) ④(調)

- (4) 当時の農民は、3年間、九州の防備にあたらなければならなかったが、これを何といいますか。(防人)
- (5) 奈良時代に入ると、人口も増加し農民にあたえる口分田が不足してきた。これを補うために次のような対策が立てられた。これを何といいますか。
① 723年、新たに土地を開墾し田をつくった場合には、3代に限り、その土地の私有を認める。(三世一身の法)
② 743年、新しく土地を開いて田をつくった場合には、永久に土地の私有をゆるす。(墾田永年私財法)
- (6) この当時、山上憶良が筑前国の役人であったとき、貧しい農民の生活を見聞してつくった有名な歌を何といいますか。
(貧窮問答歌)

【3】次の資料を読み、あとの問いに答えなさい。

天平 15 年 10 月 15 日、仏教興隆の大願を建て、慮舎那仏の金銅像一体を造る。国内の銅をすべて使って像を鑄、大山から木材を切り出して A 仏殿をつくり、仏教をさかんにして仲間を広げ、仏の恩恵によって正しい悟りをひらこう。天下の富をもつものは B 朕である。「続日本紀」

- (1) 文中の下線部 A について、奈良の都に建てられた大仏殿のある寺を何といいますか。(東大寺)
- (2) また、諸国に命じて建てさせた①僧寺と②尼寺をそれぞれ何といいますか。
①(国分寺) ②(国分尼寺)
- (3) 下線部 B の「朕」とはだれですか。(聖武天皇)
- (4) この時代の代表的な寺院建築を一つ答えなさい。
(東大寺)

- (5) 右の建物は、大仏殿の祭具や、天皇の日用品を収蔵している倉庫である。この建物を何といいますか。
(正倉院)



- (6) また、この建物には、湿度の高い日本の風土を考慮し、収蔵品をいためないように工夫がこらされているが、このような建築様式を何といいますか。(校倉造)